





## ④室内ユニットの据付けの続き

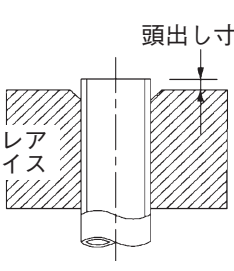
### 室内ユニット据付時のお願い

- 上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
- 室内ユニットは必ず水平に据付け、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付けに不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
- 化粧パネルと天井面、および化粧パネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

## ⑤冷媒配管

### 冷媒配管時の注意事項

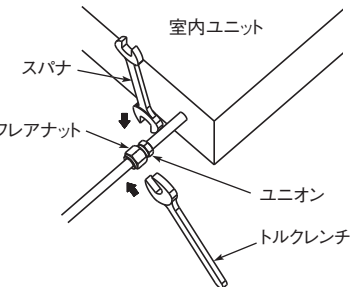
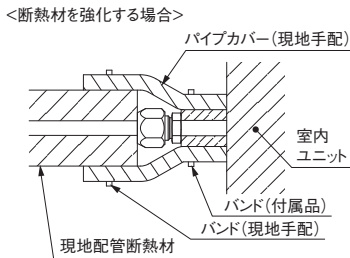
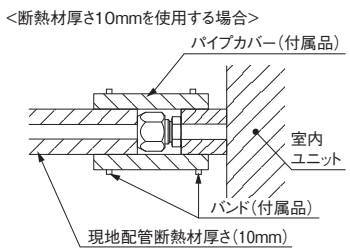
- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
- 既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書又はカタログ・技術資料で確認してください。
- 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）を使用してください。
- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32またはR410A用のフレア加工をしてください。

頭出し寸法	配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレアナット 締付けトルク N・m
			リジッド（クラッチ式） R32 用 R410A 用	従来ツール	
	6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1
	9.52	0.8			12.8～13.2
	12.7	0.8			16.2～16.6
	15.88	1			19.3～19.7
	19.05	1.2			23.6～24.0

- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。また管の内外面は美観であり、使用上有害な硫黄、酸化物質、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- R32またはR410A以外の冷媒は使用しないでください。室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端とももう付けする直前までシールしてください。冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- R32用またはR410A用の工具を使用してください。

### 作業手順

- 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取出してください。  
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けて外してください。（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
- フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）
- 液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。  
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。  
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。  
※フレア接続は、以下のように行ってください。  
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
- 室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。  
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。  
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。  
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。  
●高湿度雰囲気で使用の場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
- 冷媒は室外ユニットに充填されています。室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。



注意

同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

5

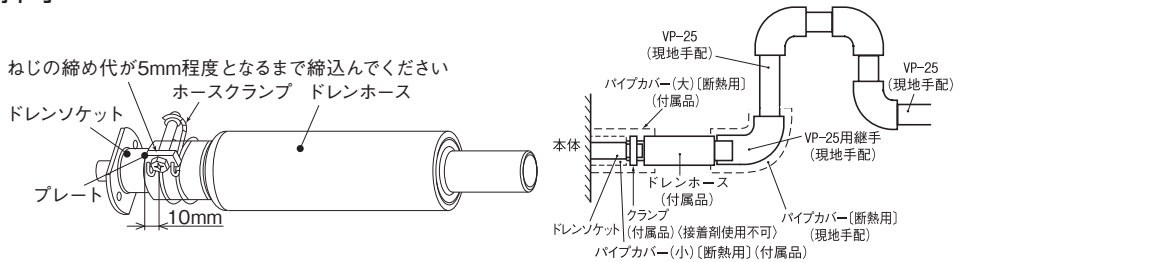
## ⑥ドレン配管

### ドレン配管時の注意事項

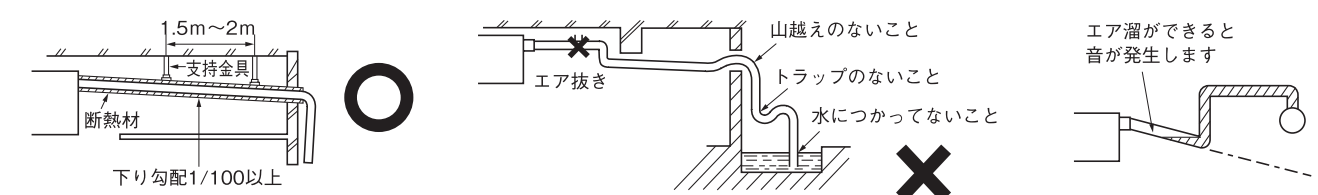
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
  - ドレン配管は、イオウ系ガスなど有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
  - 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
  - 水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
  - 施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。
  - ドレン配管は、下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
- 試験運転時にドレン排水が確実に実行されていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

### 作業手順

- 付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm程度のところに取付け、ねじの締め代が5mm程度となるまで締込んでください。  
●接着剤使用不可



- ドレンホース（硬質塩ビ端）に、VP-25用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、VP-25（現地手配）を接着・接続してください。  
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP-25を使用してください。  
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。  
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
- ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。

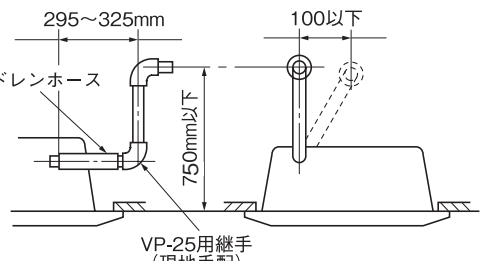


- 複数のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はVP-30以上を使用してください。

- ドレン配管の断熱施工を行ってください。  
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。  
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

### ドレンアップする場合

- ドレン配管の出口高さは、天井面より750mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。



6

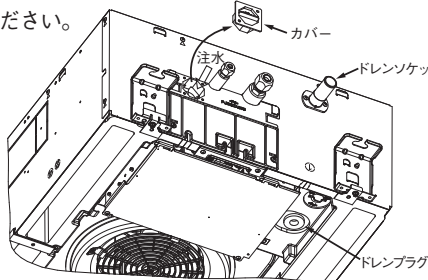
## ⑥ドレン配管のつづき

### ドレン排水テスト

- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に実行されていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
- 暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。

### 作業手順

- 配管リッド部のカバー（ねじ2個）を取り外し、下図の位置より給水ポンプなどを使用して、電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約1000cc注水してください。
- ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
- 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。



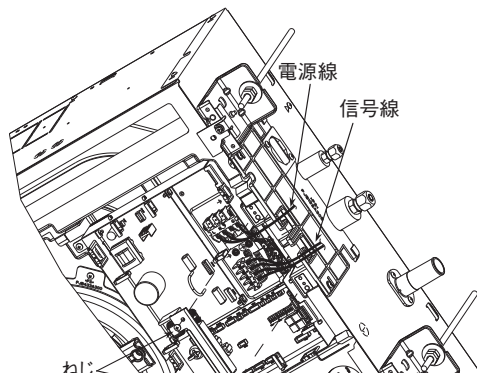
### ドレンポンプ運転方法

- 電気配線工事が完了している場合  
ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。  
運転操作方は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。
- 電気配線工事が完了していない場合  
室内ユニット基板上のSW7-1をONにし、かつ、基板上のコネクタCNBを抜いた後、電源ON（端子台①、②へAC200V）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。  
排水確認後は、必ずSW7-1を元の状態（OFF）に戻し、かつ、基板上のコネクタCNBを差し込んでください。

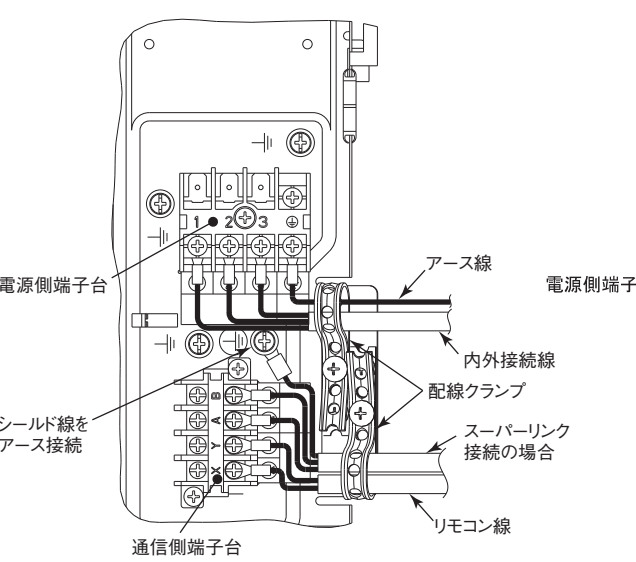
## ⑦電気配線取出位置および電気配線接続

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」内「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- 電源線と信号線は、同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- D種設置工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

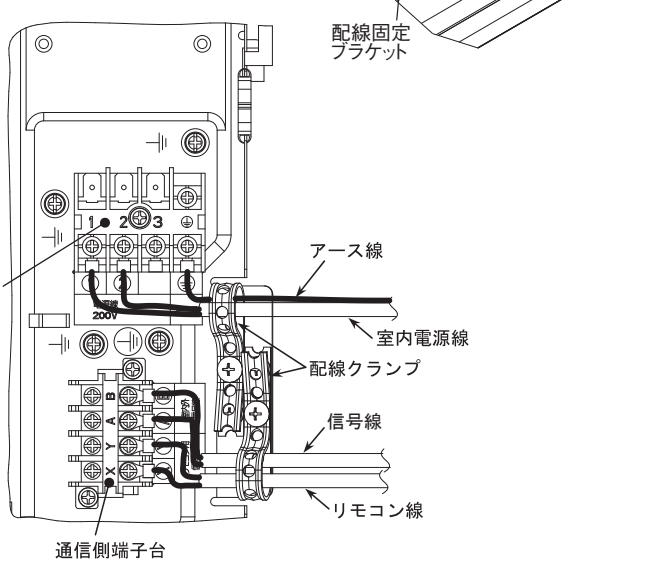
- 制御箱の蓋（ねじ2個）と配線固定ブラケット（ねじ2個）を取出してください。
- 各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
- 各配線を配線クランプで固定してください。
- 取出した部品を元通りに取付けてください。



### シングル機の配線接続



### マルチ機の配線接続



## ⑧パネルの取付

- パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニット本体に取付けてください。
- パネルの取付方法は、パネル付属の説明書をご覧ください。

7

## ⑨室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

- 室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

## ⑩店舗シリーズ機種容量統合機の場合

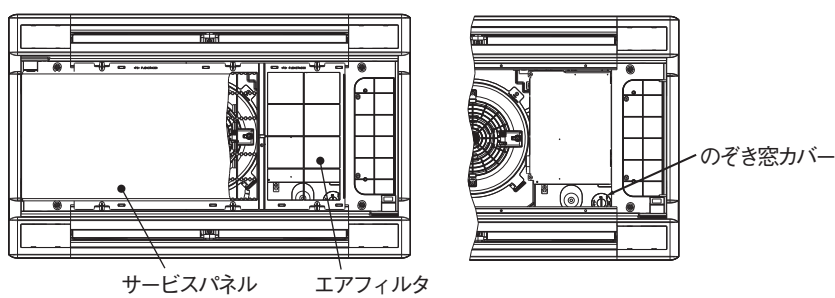
室外ユニットとの組み合わせにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

室内ユニット	室内ユニット 1 台接続							2 台接続				3 台接続		4 台接続
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	224	280	160	224	224
FDTWZP56	P40	P45	P50	P56						P40	P56			
FDTWZP63					P63									
FDTWZP80						P80				P71	P80		P80	P71
FDTWZP140							P112	P140				P112	P140	
FDTWZP160								P160						

## ⑪ドレンパン汚れ確認（メンテナンス）

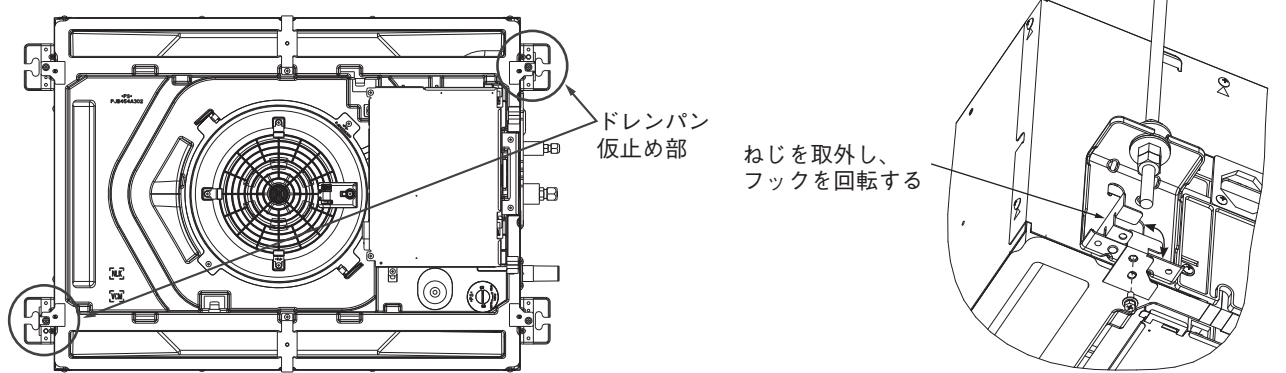
### ドレンパン汚れ確認方法

- パネル本体を取出さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパンの汚れが確認できます。（高性能フィルタなどオプションスペース取り付け時は確認できません。）
- 1. サービスパネルとエアフィルタを取出してください。
- 2. ドレンパンコーナーにあるのぞき窓カバーを取出してください。
- 3. のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。  
汚れが多い場合は、ドレンパンを取出し、ドレンパンを清掃してください。
- 4. 汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



### ドレンパン取外し時の注意事項

- ドレンパンには仮止め機構がついています。ドレンパン取外し時、および取付け時には注意願います。ドレンパン取付ねじ（4個）取外し後、仮止めフックを外してください。ドレンパン取付け時は、仮止めフックを取付け後、確実にねじで固定してください。



PJB012D315

8



# パネル据付説明書

PJB012D300



ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

## 安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**【△警告】**、**【△注意】**に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**【△警告】**の欄にまとめて記載しています。しかし、**【△注意】**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**【○】** 絶対に行わない **【!】** 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

## △警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。

**【!】**
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。

据付けに不備があると、ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。

**【!】**
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。

当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。

**【!】**
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

**【!】**
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。

**【!】**
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。

カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。

**【!】**
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。

ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

**【!】**
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。

修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

**【○】**
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。

点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。

**【!】**
- パネルやガードを外した状態で運転しない。

機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

**【○】**
- 元電源を切った後に電気工事を行う。

感電、故障や動作不良の原因になります。

**【!】**

## お願い <自動昇降パネル>

- ・サービスパネルの動作範囲の周辺および下方には、障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にパネルを取り付けた場合は、サービスパネルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前にサービスパネルを収納する場合は、付属のサポートで仮固定する事ができます。
- ・電源投入後は、付属のサポートが外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・サービスパネル取付け後の初回は、リモコンで「上げる」の操作を行い、サービスパネルを正規位置に収納してください。（マイコンが収納位置を記憶します。）
- ・ワイヤは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷ついたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

## ① 据付のまえに

- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・右図の付属品を確認してください。

### 付属品

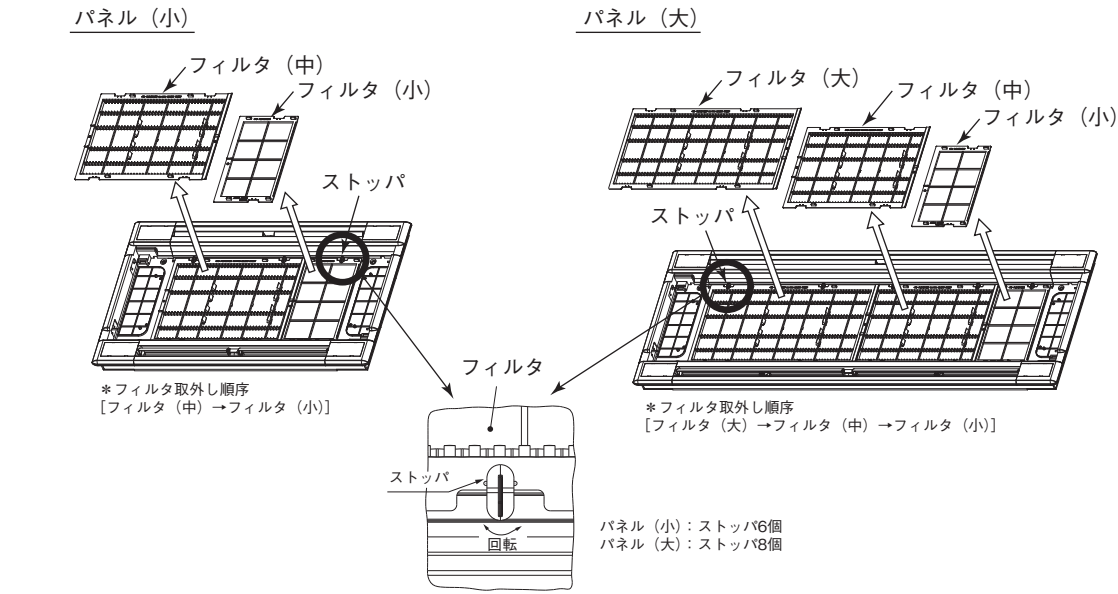
ボルト		6本	パネル取付用
サポート		4本	サービスパネル仮止め用 (自動昇降パネルのみ)

1

## ④ フィルタの取外し

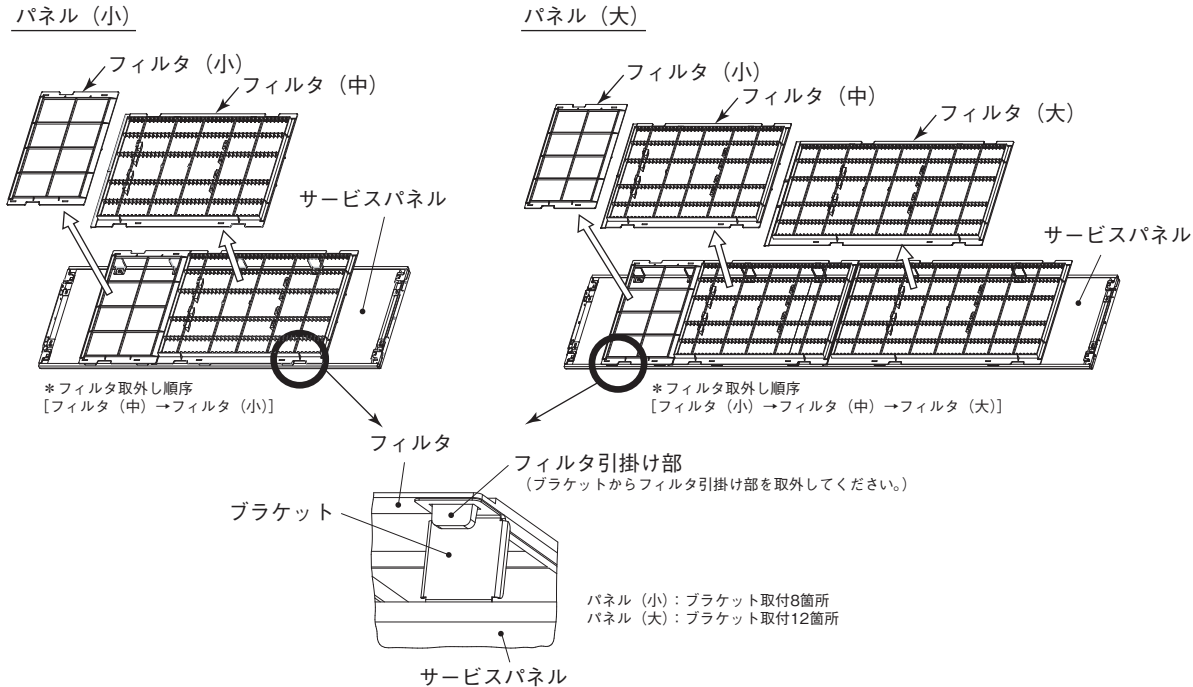
### <標準パネルの場合>

- ・フィルタを押さえ、ストッパを回転させてフィルタを取外してください。



### <自動昇降パネルの場合>

- ・フィルタをブラケットから取外してください。

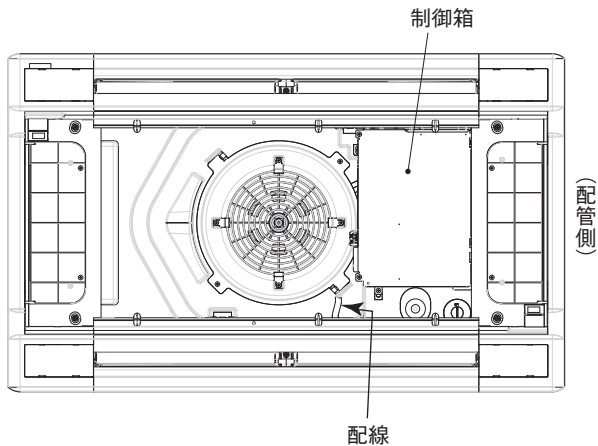


## ⑤ パネルの取付方向

1. パネルの取付方向はユニット本体に対し方向性があります。
  - ・パネルは、右図の様に電気配線が制御箱に近くなる方向で取付けてください。

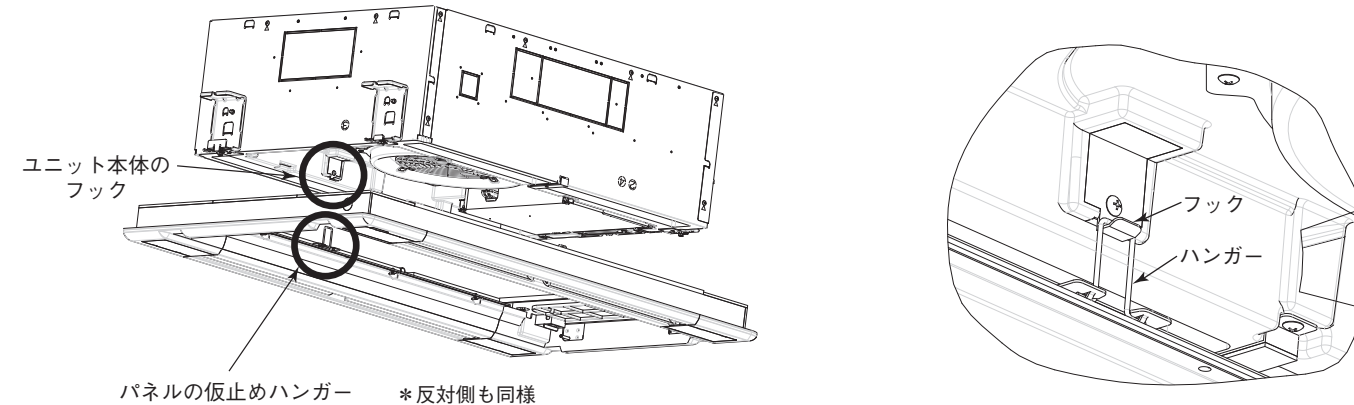
### ご注意

- ・右図以外の方向で取付けると、エアフィルタと制御箱が干渉し風漏れの原因となります。また電気配線の接続ができません。

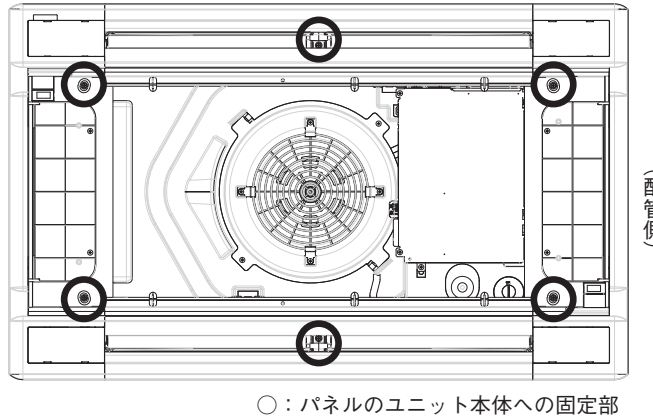


## ⑥ パネルの取付

1. パネルの仮止め
  - ・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。（2箇所）
  - ・パネルの仮止め用ハンガーをユニット本体のフックにかけて、パネルを本体に吊るします。

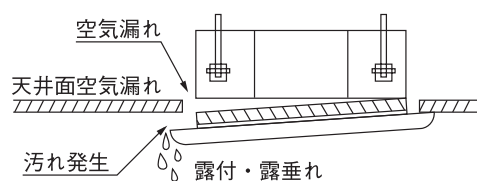


2. パネルのユニット本体への固定
  - ・パネル付属のボルト 6本を用いて、ユニット本体に締め付けてください。

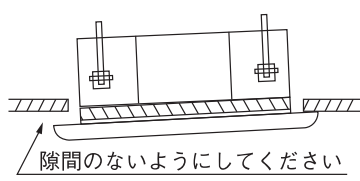


### ご注意

- ・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。



- ・吊りボルトを締め込んでも天井面と化粧パネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



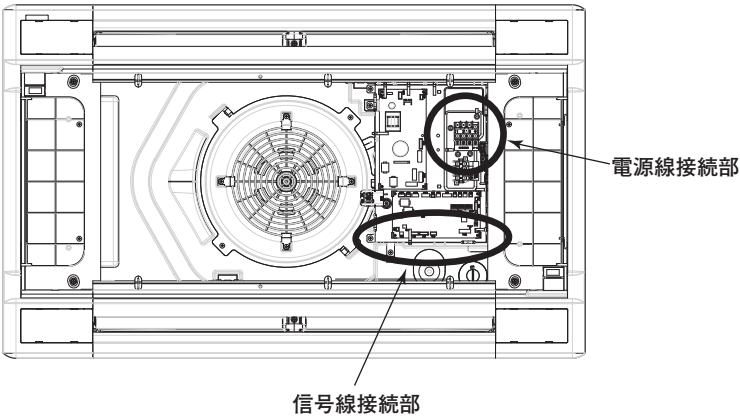
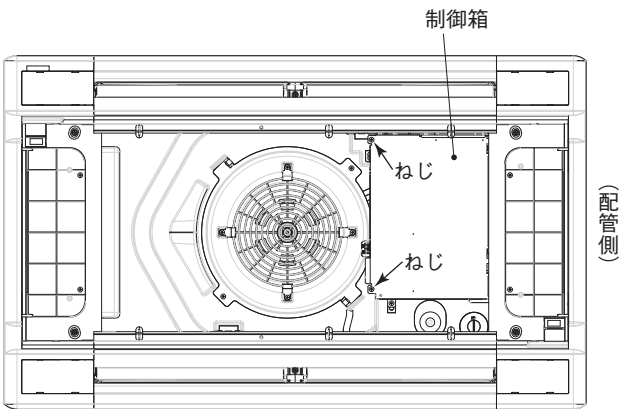
3

裏面へつづく 4

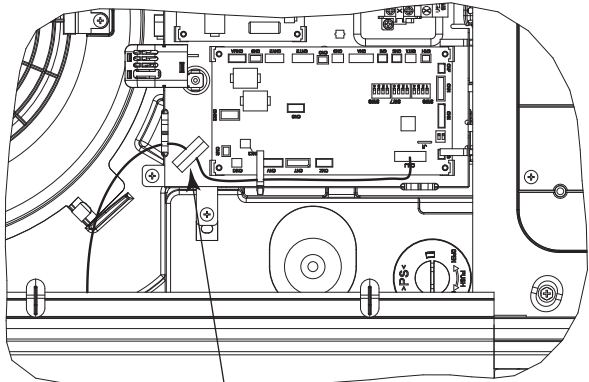


⑦ 電気配線

1. ねじ(2本)を外して、ユニット本体の制御箱の蓋を取外してください。
2. ルーバモータ用コネクタ(白 20P)を接続してください。  
・コネクタは、制御箱内に入れてください。
3. 自動昇降パネルの場合
  - ①電源線(赤・白)をユニット本体の電源端子台1番,2番に挿入してください。アース線(緑)を⑤に接続してください。
  - ②信号線をユニット本体の基板のコネクタCNV(白)に挿入してください。
4. 制御箱の蓋を取付けてください。



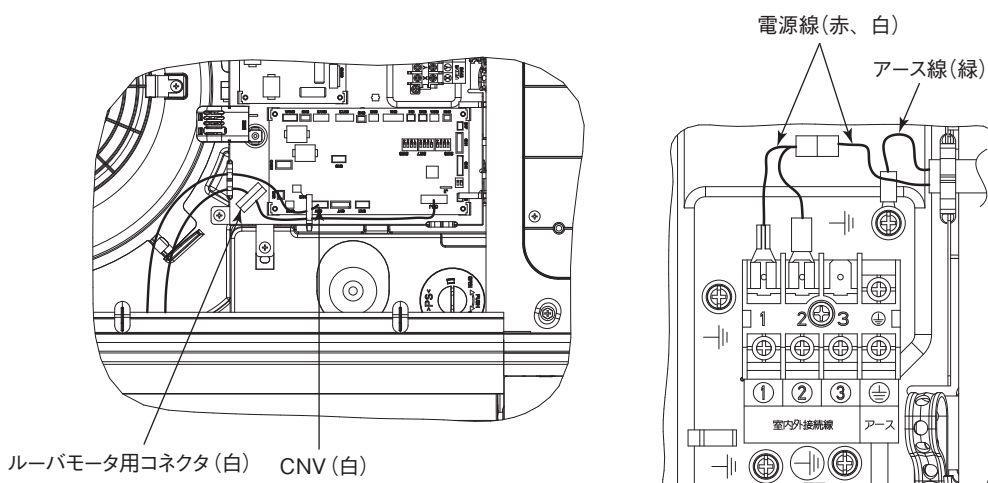
標準パネルの場合



ルーバモータ用コネクタ(白)

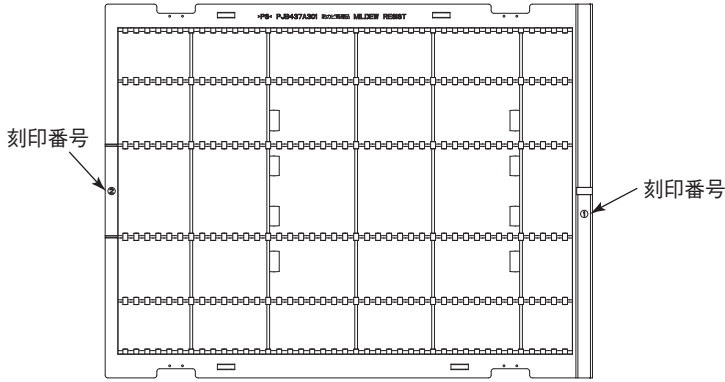
標準パネルの場合は電源線の接続はありません。

自動昇降パネルの場合



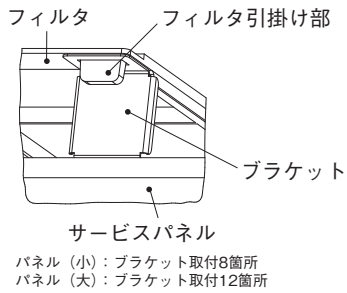
⑧ フィルタの取付

1. フィルタの取付方向には方向性があります。
2. フィルタの取付方法は⑨フィルタの取外しの手順を逆に作業してください。
3. 各フィルタの取付は、フィルタに刻印された番号を合わせ取付けてください。



ご注意

自動昇降パネルの場合、フィルタ引掛け部は確実にブラケットへ差し込んでください。



⑨ サービスパネルの取付

＜標準パネルの場合＞

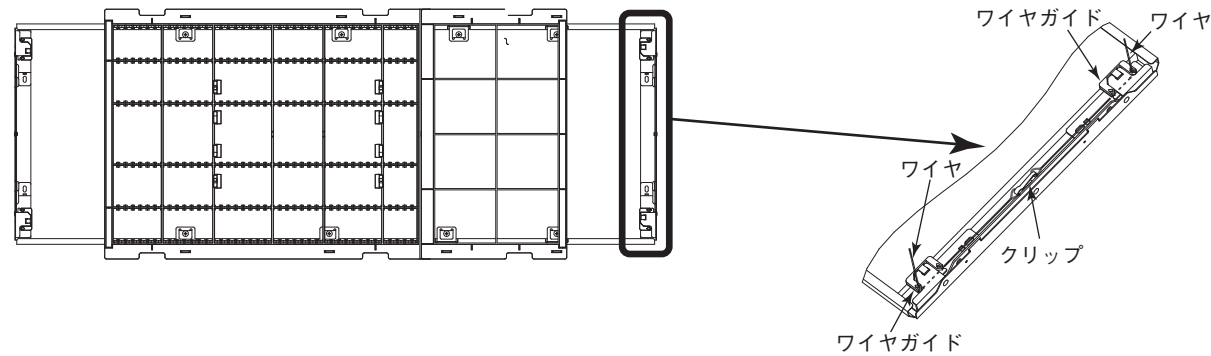
1. パネルとサービスパネルの取付方向には方向性ありません。
2. サービスパネルの取付方法は⑩サービスパネルの取外しの手順を逆に作業してください。

＜自動昇降パネルの場合＞

1. サービスパネルの取付方向はパネル本体に対し方向性があります。
2. ワイヤをワイヤガイドに通し、クリップが中央に来るよう取付けてください。
3. ワイヤ装着後、ワイヤの曲がり・ねじり・噛み込みがないことを確認してください。

ご注意

ワイヤガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、グリルの自動昇降できなくなったり、グリルが落下する恐れがあります。

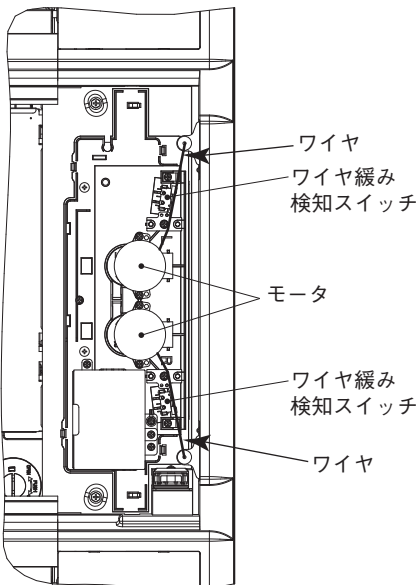


⑩ 自動昇降パネルの設定

ワイヤードリモコン又は、ワイヤレスリモコンを使用することで、サービスパネルの下降長さ設定をすることができます。下降長さ設定する場合は、リモコン据付説明書を参照し、電源周波数設定及び下降長さ設定を行ってください。

ご注意

＜ワイヤ緩み検知機構について＞  
自動昇降パネルには、ワイヤの絡まり防止のため、「ワイヤ緩み検知機構」を装備しています。サービスパネルを吊ったワイヤが緩んだ場合、ワイヤ緩み検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。パネル据付後、サービスパネルが動かない場合、「ワイヤ緩み検知機構」が作動している可能性がありますので、据付時にワイヤの噛み込み、絡まり等が無いのか、ワイヤ経路をご確認ください。



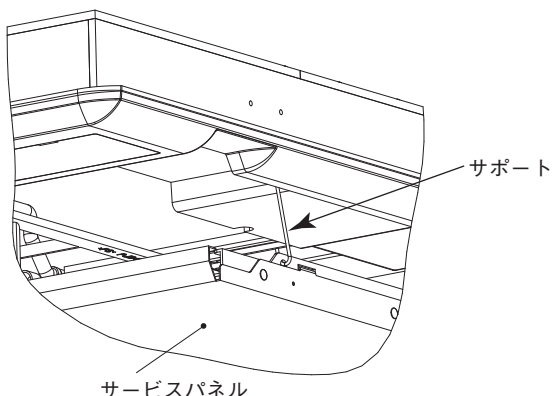
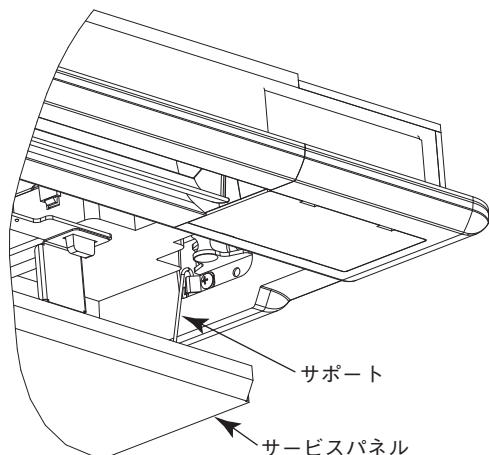
⑪ 電源投入前のサービスパネルの仮固定 ＜自動昇降パネルのみ＞

電源投入前は、サービスパネルの自動昇降はできません。

1. 電源投入前にサービスパネルを収納したい場合は、付属のサポートでサービスパネルを仮止めすることができます。
2. パネルの4コーナーに付属のサポートを図のように取付けてください。(4箇所とも)
3. ワイヤを折り曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。

ご注意

- ・仮固定の状態で昇降動作を行わないでください。
- ・サポートを装着したまま昇降動作を行うと、サービスパネル昇降装置の故障の原因になります。
- ・仮固定の状態で運転しないでください。  
内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。



本説明書は、人感センサーキットの据付方法を記載してあります。  
室内ユニット・パネル・リモコン・室外ユニット付属の説明書と合わせてご覧ください。



⚠

警告

!

●室内ユニットのコントロールボックス内にあるプリント基板に配線を接続し、基板に負荷がかからないように、配線を確実に固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、異常発熱や火災の原因になります。

!

●電気配線作業の際は、必ず電源を OFF にすること。  
電気配線作業にあたって電源が ON のままだと、感電・故障・誤作動の原因になります。

⚠

注意

⊘

●人感センサーキットを下記場所に設置しない。  
人感センサーキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。  
(1) 直射日光の当たる場所 (8) 蛍光灯(特にインバータータイプ)の近く  
(2) 発熱器具の近く あるいは、直射日光が当たる場所  
(3) 湿気の多い所・水のかかる所 (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所  
(4) 取付け面が発熱・結露する場所 (10) 長時間振動が加わる場所  
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所 (11) 静電気や強い電磁波のある場所  
(6) 取付け面に凹凸がある所 (12) 塵埃の多い場所、レンズ面に汚れ及び損傷を与える恐れのある場所  
(7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所

⊘

●人感センサーをカバーを付けずに放置しない。  
カバーを取り外す場合は、梱包や袋を使用して人感センサーを保護してください。水やほこりとの接触をさけてください。

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

受信部	グロメット	配線クランプ	ねじ	説明書

② 人感センサー据付場所、検知範囲

・据付高さは床面より4m以内としてください。  
センサー感度が鈍くなり、検知しにくくなります。  
・周囲との温度差のある物体が動くことにより、センサーが検知します。  
・小さな子供や動きの少ない乳児は検知できない場合があります。

高さ	h (m)	2.7	3.5	4.0
検知範囲	φ A (m)	4.5	6.4	7.6
検知範囲	φ B (m)	6.4	8.3	9.5

④ パネル付属の説明書を参照して、室内ユニットへパネルを装着してください。

※注意：パネル取り付け時、配線を挟み込まないようにしてください。

⑤ コントロール BOX 内の配線接続

① サービスパネルとエアフィルタを取り外してください。  
② ユニット本体のコントロール BOX の蓋を取り外してください。(ねじ 2 箇所)  
③ ④部から配線をコントロール BOX 内へ入れてください。  
④ 配線をクリップ (3 箇所) で固定してください。  
⑤ CNG コネクタ (4P 青) を制御基板に接続してください。  
⑥ CNV2 コネクタ (4P 黒) を制御基板に接続してください。

③ 受信部の取り付け<パネル吊り込み前の作業>

- ※注意： 下図に示すコーナーリッド部にのみ、人感センサを取り付けることが可能です。  
受信部の取り付け向きに注意してください。
- ① 人感センサ取付位置のコーナーリッドを取り外してください。  
溝に工具を挿し、フレームを傷付けないように軽く外側に倒してください。

② パネル側面に貼り付けられた断熱材のスリット (丸穴 (φ 25)、B側) を切り取り、付属のグロメットを取り付けてください。

③ 受信部の配線を B 側の穴に通した後、受信部のツメ部 (2 箇所) をフレームに挿しながら外側を押し込み取り付けます。

④ パネル天井裏側図に示すように配線を通し、付属の配線クランプ・ねじにて固定します。



人感センサーキット 取扱説明書

このたびは三菱重工パッケージエアコン・人感センサーキットをお買い上げいただき、ありがとうございました。  
この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。  
室内ユニット・リモコン付属の説明書と合わせてご覧ください。



ご使用上のご注意

警告

●子供・病気の方など 補助を必要とする人が使う場合、周囲の人が十分注意する。  
異常や人感センサー制御などにより空調機が停止した場合、体調不良や事故の原因になることがあります。

お知らせ

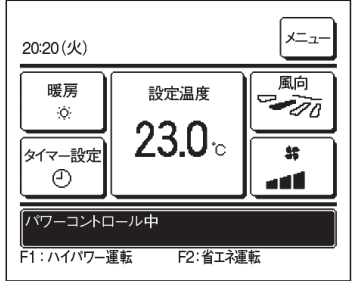
- ・検知エリアの隅では人を検知しにくくなります。
- ・周囲と温度差のある物体が動く場所に据え付けた場合「人がいる」と検知する場合があります。
- ・設定温度の補正に伴い、肌寒く感じる場合があります。

本品は、赤外線センサーを利用して検知範囲内の人の活動量を検知し、エアコンの制御を補助するものです。  
リモコンからご希望の制御を設定して頂き、ご使用ください。

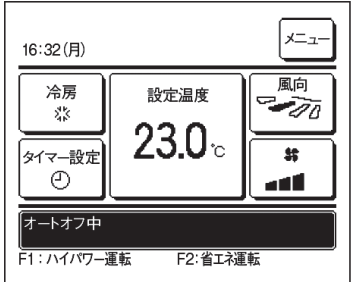
室内ユニット制御	検知状況	制御内容	エコタッチリモコン表示
①パワーコントロール	活動量が多い時	快適性を重視して室温設定を下げる。	パワーコントロール中
	活動量が少ない時	省エネ重視して室温設定を上げる。	パワーコントロール中
②オートオフ	検知無し 1 時間経過	運転停止＋待機状態	オートオフ中
	検知無し 12 時間経過	運転停止	－
①＋②	上記の組合せ	上記のいずれか	上記のいずれか
全て無効（出荷時）	－	標準制御	－

センサー未接続・センサー不良の場合は活動量検知無し（少ない）状況の制御になります。

設定方法は、次項を参照してください。



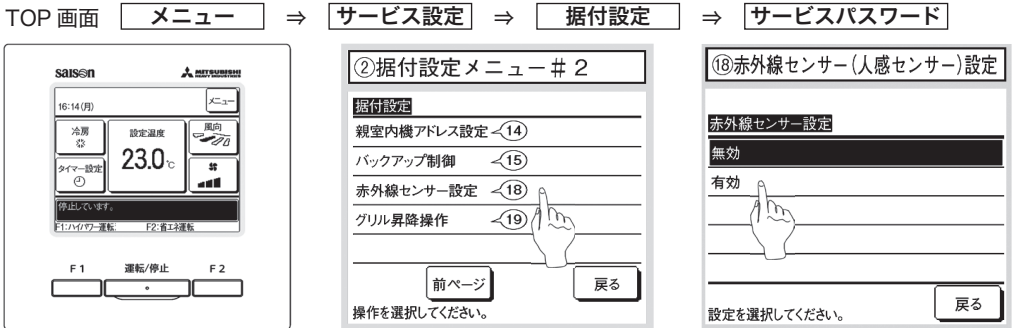
- ・パワーコントロール有効の場合  
人感センサーにより人の活動量を検知し、設定温度を補正します。  
設定温度を補正中はメッセージ表示部に「パワーコントロール中」を表示します。



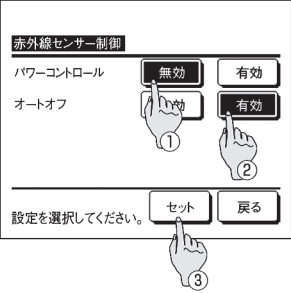
- ・オートオフ有効の場合  
人が不在となって、1 時間すると『運転待機』状態、さらに 12 時間経過すると『完全停止』します。  
『運転待機』…エアコンは停止しますが、人が戻ると運転を再開します。  
メッセージ表示部に「オートオフ中」を表示します。  
『完全停止』…エアコンを停止します。人が戻っても運転を再開しません。  
メッセージ表示部の「オートオフ中」表示が消え、運転ランプが消灯します。

制御設定 <エコタッチリモコンから設定する場合>

●エコタッチリモコン付属の据付説明書を参照して、赤外線センサー（人感センサー）を有効に設定する。



- エコタッチリモコン付属の取扱説明書を参照して、制御モードを設定する。
- 赤外線センサー（人感センサー）制御  
人感センサーにより人の有無・活動量をセンサーで判定し、各制御を行います。
- リモコンが子リモコン設定されている場合、赤外線センサー（人感センサー）制御の設定はできません。



TOP 画面    **メニュー**    ⇒    **省エネ設定**    ⇒    **管理者パスワード**    ⇒    **赤外線センサー制御** または **人感センサー制御**    を選択してください。  
赤外線センサー制御画面と現在の設定内容が表示されます。

- ① パワーコントロールの有効 / 無効を設定します。
- ② オートオフの有効 / 無効を設定します。
- ③ 各項目設定後、**セット** ボタンをタッチしてください。  
省エネ設定メニュー画面に戻ります。

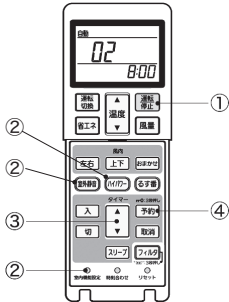
制御設定 <ワイヤレスリモコンから設定する場合>

●ワイヤレスリモコン付属の据付説明書を参照して、**室内機能設定** の人感センサーを有効に設定する。

室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた  
① 運転／停止を押し、停止状態にする。  
② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。  
③ 選択ボタン▲、▼で設定番号を選択する。  
④ 予約ボタンを押す。  
リモコン信号受信部より、ピピッと 2 回ブザーが鳴り、LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。
2. 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
室外静音	00	人感センサー設定：無効
	01	人感センサー設定：有効
ハイパワー	00	人感センサー制御：無効
	01	人感センサー制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサー制御：オートオフのみ
	03	人感センサー制御：パワーコントロール＋オートオフ



ワイヤレスリモコン・ワイヤレス受信部  
据付説明書

形式:LA-TW PJB012D307

201612



安全上のご注意

- 工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ⚠警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
- ⚠注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。
- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
--	--------------	--	------------------

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

- 据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。  
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。  
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。  
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- 据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。  
感電、故障や動作不良の原因になります。
- 改造は絶対にしない。  
感電、火災、故障の原因になります。
- 修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。  
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
- 特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。  
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- 大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。  
感電、火災、故障の原因になります。
- 洗濯室など水のかかる所では使用しない。  
感電、火災、故障の原因になります。
- ぬれた手で操作しない。  
感電の原因になることがあります。

1



警告



- 本機を水洗いしない。  
感電、火災、故障の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。  
インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。  
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。
- 基板のケースを取り外したまま放置しない。  
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。



注意



- ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。  
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
- (1) 直射日光の当たる場所 (8) 蛍光灯(特にインバータータイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
- (2) 発熱器具の近く (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
- (3) 湿気の多い所・水のかかる所 (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所
- (4) 取り付け面が発熱・結露する場所
- (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6) 取り付け面に凹凸がある所
- (7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部  
LA-TW

① 受信部		1
② パーツセット		1
③ 据付説明書		1

① 配線クランプ		2
② 同上ネジ		2
③ グロメット		1

ワイヤレスリモコン（別売品）  
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダー		1
③ 同上用木ネジ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取り付け前の準備

受信部の設定

受信部基板上のスイッチの設定は右記の通りです。  
なお、出荷時の設定は ☐ で囲まれた設定になっています。

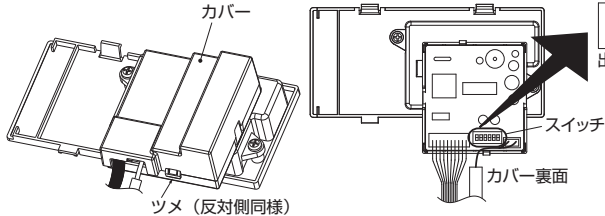
SW1	複数台設置時の混信誤動作防止	<input type="checkbox"/> ON：通常 <input type="checkbox"/> OFF：切換
SW2	受信部の親子切換	<input type="checkbox"/> ON：親 <input type="checkbox"/> OFF：子
SW3	ブザー音	<input type="checkbox"/> ON：有り <input type="checkbox"/> OFF：無し
SW4	停電補償	<input type="checkbox"/> ON：有効 <input type="checkbox"/> OFF：無効
SW5	点検表示	<input type="checkbox"/> ON：有効 <input type="checkbox"/> OFF：無効
SW6	機種	<input type="checkbox"/> ON：FDK <input type="checkbox"/> OFF：FDTW

2

② 取り付け前の準備の続き

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のカバーを取り外してください。
2. カバー裏面の基板上のスイッチを変更してください。



3. SW1 を OFF にする場合はリモコン側も設定変更 してください。  
設定変更は、本説明書 ④ワイヤレスリモコンの混信防止設定 をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 ⑤受信部 をご覧ください。

複数リモコン  
使用時の親子設定

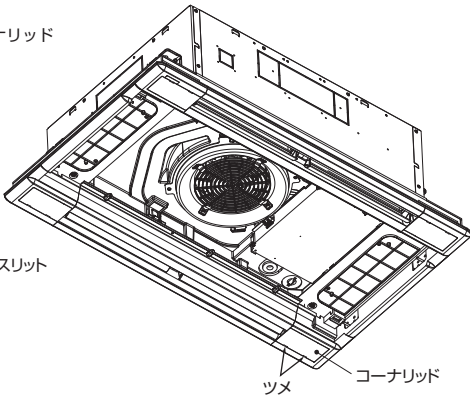
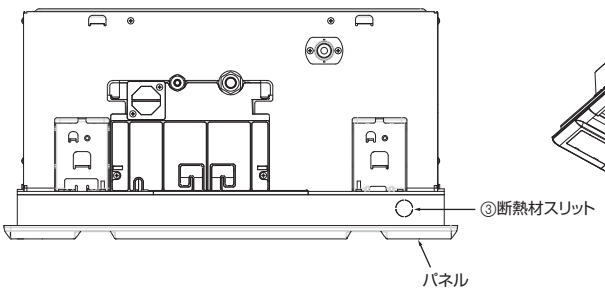
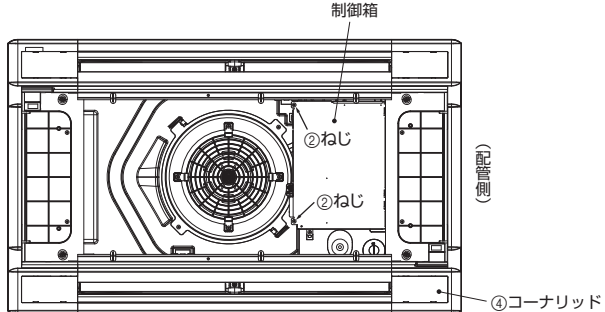
1つのグループに対して最大2個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。  
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。  
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

③ 受信部の取り付け

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナリッドと交換することにより取り付け可能です。

取り付け前の準備

- ① サービスパネルとエアフィルタを取り外してください。
- ② エアコン本体の制御箱の蓋(ねじ2個)を取り外してください。
- ③ パネル側面に貼り付けられた断熱材のスリットを切り取ってください。
- ④ コーナリッドのツメをマイナスドライバー等で取り外してください。



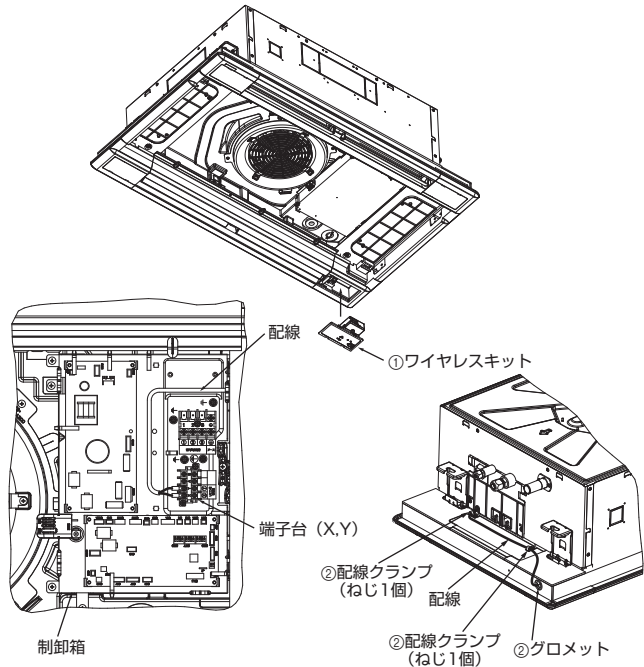
3

③ 受信部の取り付けの続き

受信部の取り付け

- ① 下図に示すようにワイヤレスキットをパネルに取り付けてください。
- ② グロメットおよび配線クランプを取り付けてください。
- ③ ワイヤレスキットの配線を下図に示すように、コントロールボックスに入れてください。
- ④ 配線を制御箱内の端子台(X、Y)に接続してください。(無極性)
- ⑤ 制御箱の蓋を外したねじ(2本)を用いて取り付けてください。

※ ご注意：取り付けの際、配線をさはさないようにしてください。



4



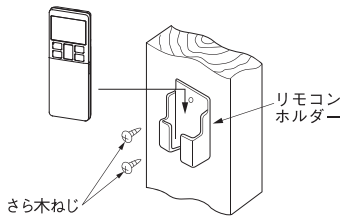
④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダーの据付

リモコンホルダーを付属のねじで固定してください。

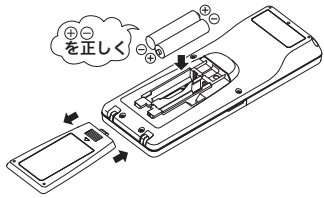
※ホルダー取り付け時の注意

- ・垂直になるよう調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取り付けないでください。



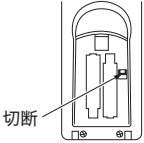
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取り付けます。



混信防止設定

1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取り外す。
2. 乾電池横の切換線をニッパー等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取り付ける。



リモコンの設定変更

自動運転の設定変更のしかた

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。

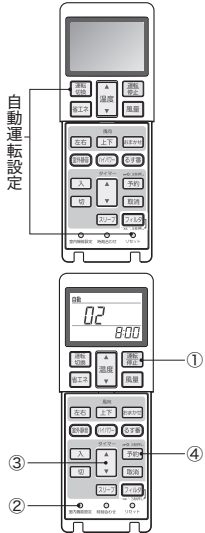
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。  
運転切換ボタンを押しながら「リセット」スイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取り外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。  
電池を取り外した時は、再度上記操作を行ってください。

室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた

- ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
- ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
- ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
- ④ 予約ボタンを押す。  
リモコン信号受信部より、ピピッと 2 回ブザーが鳴り、LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンの続き

2. 設定内容

機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定 1 ※
	02	風速設定：設定 2 ※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：+ 1℃
	02	暖房室温補正：+ 2℃
	03	暖房室温補正：+ 3℃
フィルタ	00	フィルターサイン表示：なし
	01	フィルターサイン表示：180 時間
	02	フィルターサイン表示：600 時間
	03	フィルターサイン表示：1000 時間
	04	フィルターサイン表示：1000 時間後運転停止
上下	00	ドラフト防止設定 (エアフレックス設定)：無効
	01	ドラフト防止設定 (エアフレックス設定)：有効
室外静音	00	赤外線センサー設定 (人感センサー設定)：無効
	01	赤外線センサー設定 (人感センサー設定)：有効
ハイパワー	00	赤外線センサー制御 (人感センサー制御)：無効
	01	赤外線センサー制御 (人感センサー制御)：パワーコントロールのみ
	02	赤外線センサー制御 (人感センサー制御)：オートオフのみ
	03	赤外線センサー制御 (人感センサー制御)：パワーコントロール+オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5 時間
	02	冷房ファン残留運転：2 時間
	03	冷房ファン残留運転：6 時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5 時間
	02	暖房ファン残留運転：2 時間
	03	暖房ファン残留運転：6 時間
るす番	00	リモコン信号受信部 LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部 LED：輝度暗
省エネ	02	リモコン信号受信部 LED：消灯
	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1 m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2 m
	.	.
	.	.
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0 m
	.	.
	.	.
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9 m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0 m
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※ 詳細は技術資料を参照ください。

⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

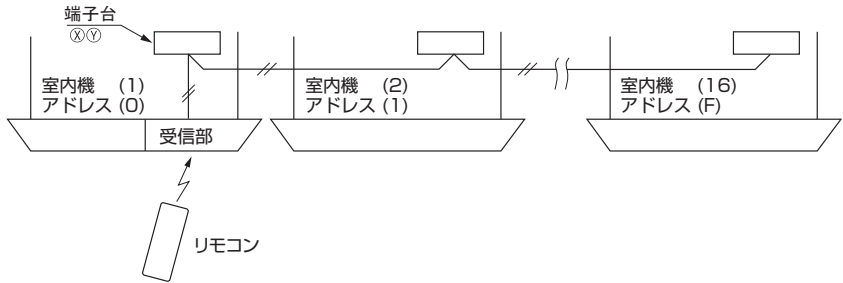
1. 1 つのリモコンで複数台のユニット (最大 16 台) をグループ制御できます。  
同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間に  
2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限 (最大 600m)

標準	0.3 mm <sup>2</sup> × 100m 以内
	0.5 mm <sup>2</sup> × 200m 以内
	0.75mm <sup>2</sup> × 300m 以内
	1.25mm <sup>2</sup> × 400m 以内
	2.0 mm <sup>2</sup> × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチ SW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

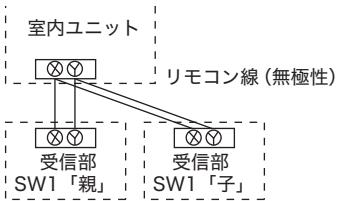


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。  
室内ユニット基板上のロータリSW1、SW2により、室内No. を重複ないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット 1 台 (又は 1 グループ) に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。



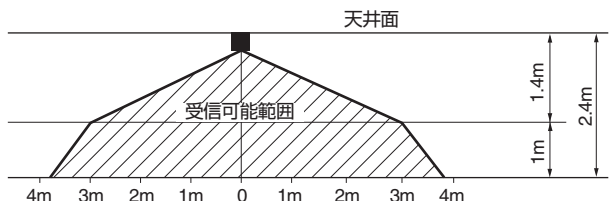
スイッチ	設定	機能内容
SW2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離

【条件】受信部照度 300 ルクス

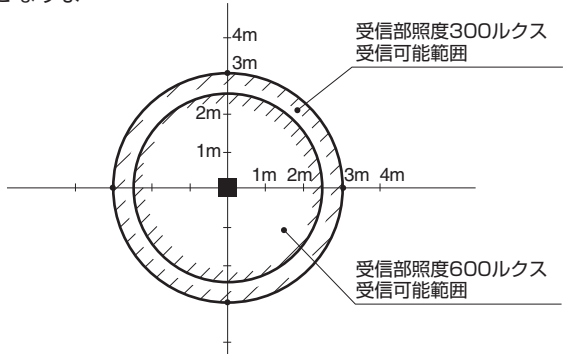
(一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)



⑤ 受信部の続き

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

【条件】天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、  
リモコン操作した場合の受信部照度と受信  
距離との関係を右図に示します。照度が  
2 倍になると受信距離は 2 / 3 となりま  
す。



3. 複数台近接設置の注意

【条件】受信部照度 300 ルクス

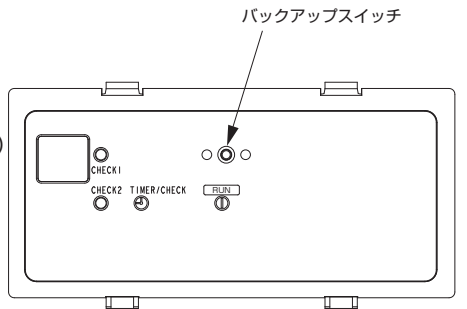
(一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)

【複数台近接設置】リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。  
ワイヤレスリモコン操作ができない場合 (電池切れ、紛失、  
故障) に応急的に使用してください。  
操作は手で直接操作してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード (冷専は冷房モード) で運転します。  
風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
2. 運転中に押すことにより「停止」します。
3. 自動昇降パネル使用時、2 秒以上押し続けてから離れた場合、自動昇降パネル上昇となります。



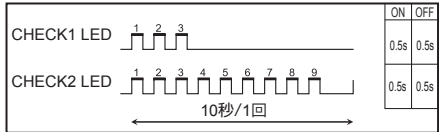
冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼り付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

点検表示の見方

- 点検 LED 表示 “CHECK1” / “CHECK2” の LED がエラーコードの “十の位” / “一の位” の数だけ点滅します。

例：E39 のとき





# 電気配線工事説明書

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

## 安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

### 安全のため必ずお守りください。

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「△警告」と「△注意」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- △警告「△注意」の意味

△警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	△注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。
-----	--	-----	-------------------------------

- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。

○絶対に行わない

●必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

### △警告

- 電気工事は電気工士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。  
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。  
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。  
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。  
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

### △注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。  
漏電遮断器が取付けられないとき感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。  
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。  
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。  
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

## 制御の切り換え

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切り換え可能です。（□は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室内アドレス(1位)
SW5-1	親/子切換(ブルー/子機設定)
SW5-2	機種容量
SW6-1～4	ON 運転チェックドレンポンプ試運転
SW7-1	OFF 通常運転
SW7-2 (注1)	ON 旧SL通信仕様固定
SW7-3	OFF 新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7-3	室内アドレス(100位)

※注1：集中制御機器接続時の場合

通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。

旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ、ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前

新 SL：ビル空調 3LX シリーズ、ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降

SW7-2 が OFF (工場出荷設定) の場合は、通信仕様 (新 SL / 旧 SL) を自動判別します。

旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW7-2 を ON にしてください。

各通信仕様の特徴、制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

## ② リモコンの取付け（別売部品）

- 取付けの詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
- 次の位置へ取付けないでください。
  - 直射日光の当たる所
  - 湿気の多い所、水が飛散する所
  - 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
  - 発熱器具に近い所
  - 取付け面が発熱・結露する所
  - 取付け面の凹凸がある所

### リモコン取付け・配線

- ①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm<sup>2</sup>×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）
- ③リモコン線の総延長は600mです。  
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm<sup>2</sup>以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。  
100～200m以内・・・0.5mm<sup>2</sup>×2心  
300m以内・・・0.75mm<sup>2</sup>×2心  
400m以内・・・1.25mm<sup>2</sup>×2心  
600m以内・・・2.0mm<sup>2</sup>×2心
- ④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

### 1リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ①1つのリモコンで複数台の室内ユニット(最大16台)をグループ制御できます。

同一モード、同一室温設定で運転します。

- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。

- ③室内ユニットの基板上のロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

### 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(又は1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン＋ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

- 1 個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

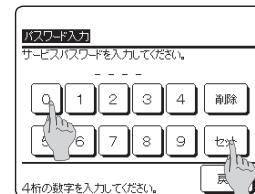
## ③ 室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

- 電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。（アドレス確認はシングル接続を除く）

### eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



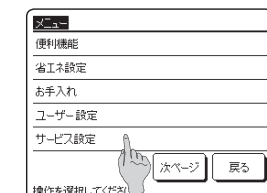
- 1 メニューをタッチする。  
メニュー画面に切り換わります。



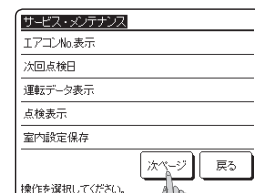
- 4 サービスパスワードを入力する。
- 5 セットをタッチする。  
サービス・メンテナンスの画面に切り換わります。

機種容量	容量
000	50
001	50
002	50
003	50
004	50
005	50
006	50

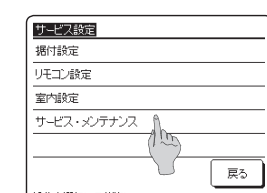
- 8 接続されている室内ユニットのアドレスNo. (室内機No.) と機種容量が表示されます。



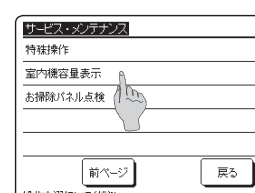
- 2 サービス設定をタッチする。  
サービス設定画面に切り換わります。



- 6 次ページをタッチする。



- 3 サービス・メンテナンスをタッチする。  
パスワード入力画面に切り換わります。



- 7 室内機容量表示をタッチする。

## 機種容量の設定

- 本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。  
機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。

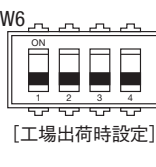
### シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

- [i] 同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合  
①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
- ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は「③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法」を参照してください。

### マルチ V 接続の場合

- [i] 異機種 / 異容量、同機種 / 異容量の室内ユニットを接続する場合  
①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で機種容量を設定してください。形式により設定できる機種容量は下表の通りです。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。
- [ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合  
①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT	FDR	ZP565S	ZP635S	ZP715S	ZP805S	ZP1125S	ZP1605S
容量	P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140	
SW6-1	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	
SW6-2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	
SW6-3	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	
SW6-4	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	



注1: 工場出荷時の設定は自動認識(全て OFF)になっています。  
注2: シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

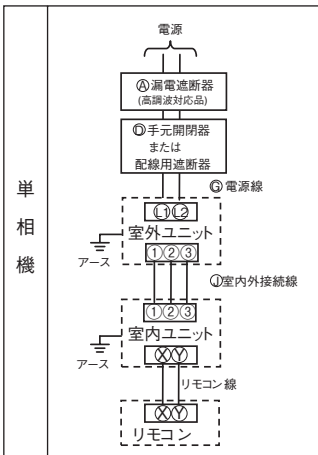
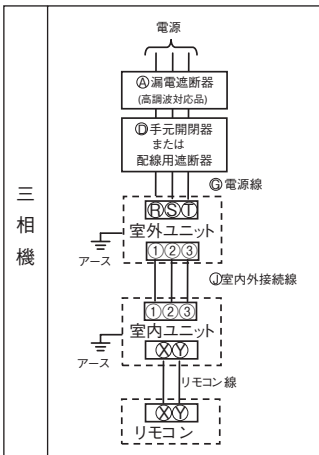
- ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は「③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法」を参照してください。

## ① 電源・室内外配線の接続

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
  - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
  - ②室外ユニットへ接続してください。
  - ③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
- アース線は室内外接続線及び室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
- 室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- 室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線など）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接触れないように施工してください。
- リモコン用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- 室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
  - ①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
  - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器(三菱電機製NVCシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
  - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用遮断器が必要となります。
  - ④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
- 配線の接続はねじの緩みがないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
- 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

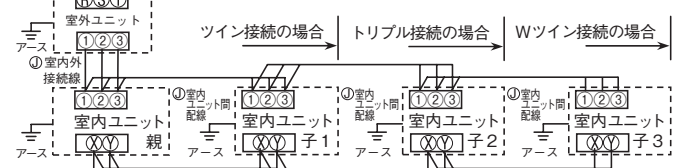
### シングル接続の結線

- ①室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。  
※ 例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



### ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③及び⑧⑨の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上のロータリスイッチSW2により、同一冷暖房系統すべての室内ユニットを同一アドレスに設定してください。
- ③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチSW5-1、SW5-2により、子1～子3に設定してください。



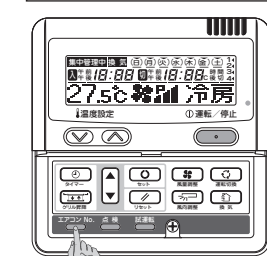
### 室内ユニットの親・子設定方法（工場出荷時「親」設定）

室内ユニット	親	子1	子2	子3
室内基板 SW	SW5-1	OFF	OFF	ON
SW	SW5-2	OFF	ON	OFF

## ③ 室内ユニットのアドレス機種容量確認方法（つづき）

### 標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合

機種容量は確認できません。



カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

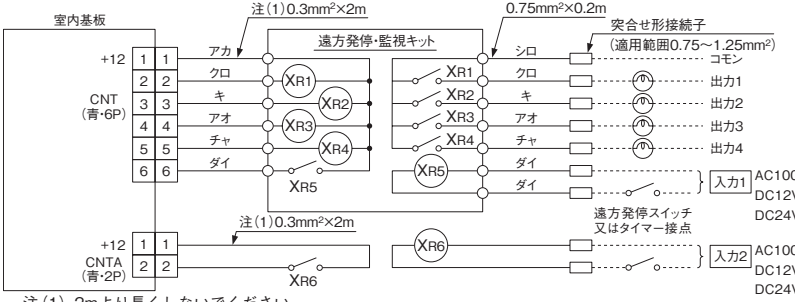
- 1 エアコンNoボタンを押す。  
室内ユニットアドレスが表示されます。
- 2 ▲▼ボタンを押す。  
接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

## ④ リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作 (RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作 (RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の接続室内ユニットの確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコンNo.表示]⇒[個別送風運転]	①エアコンNo.を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③[運転切換]を押してください。送風運転します。
2	親子リモコン設定	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[サービスパスワード]⇒[リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ (SW1) を「子」に設定してください。
3	運転データの確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[運転データ表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機運転⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
4	点検表示の確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[点検表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示
5	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]	①[運転/停止]を押し、運転させてください。 ②[運転切換]により、「冷房」を選択します。 ③[試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④[冷房試運転▼]の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
6	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]	①[運転/停止]を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

## ⑤ 室内基板CNTコネクタの機能



- 注(1) 2mより長くしないでください。
- XR1～4はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
- XR5は、DC12、24Vまたは100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
- CNTコネクタ（現地側）メーカ、形式  
コネクタ:モレックス製 5264-O6  
端子:モレックス製 263T  
別売品 (PCZ006A043) を準備しておりますのでご利用ください。
- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- CNTAコネクタは、FDT他に搭載仕様が確認できます（現地側）メーカ、形式  
コネクタ:日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E  
端子:日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6  
別売品 (PCZ006A053) を準備しておりますのでご利用ください。

- 出力1～4, 入力1～2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。  
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力	① 運転出力	② 暖房出力	③ コンポ ON 出力	④ 点検 (異常) 出力	⑤ 冷房出力	⑥ ファン運転出力1	⑦ ファン運転出力2
入力	⑧ ファン運転出力3	⑨ デフロスト、油戻し出力	⑩ 換気出力	⑪ ヒータ出力	⑫ フリーリング出力	⑬ 室内過負荷異常出力	

工場出荷時の設定	① 運転/停止	② 出力1 運転出力	③ 出力2 暖房出力	④ 出力3 コンポ ON 出力	⑤ 出力4 点検 (異常) 出力	⑥ 設定温度シフト	⑦ 強制サーモ OFF	⑧ 緊急停止	⑨ 一時停止	⑩ 静音モード
----------	---------	------------	------------	-----------------	------------------	-----------	-------------	--------	--------	---------

工場出荷時の設定  
CNT-2出力1 運転出力 CNT-5出力4 点検 (異常) 出力  
CNT-3出力2 暖房出力 CNT-6入力1 運転/停止  
CNT-4出力3 コンポ ON 出力 CNTA入力2 運転/停止

- 設定の方法は技術資料をご覧ください。



⑥リモコンからの操作・設定

A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。  
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。  
C：インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。

○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。  
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。  
※1：RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。  
※2：RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。  
※3：RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク				
1 複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。		○
2 親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン（含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作				
1 メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2 運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3 設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効／無効を設定します（FDK の場合）。※2	A	△
5 風量		風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8 F1 スイッチ	※1	F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9 F2スイッチ	※1	F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10 言語切換	※3	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／トルコ語／ポルトガル語／ロシア語／ポーランド語／中国語	A	
3. 便利機能				
1 フリーフロー設定		各ルーパーの可動範囲（上限位置－下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2	A	△
2 エアフレックス（風よけ）設定	※1	・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中／停止中）を切換えます。	A	
3 タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
	時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	
	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
	タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4 おこのみ設定 管理者パスワード	※1	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5 ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6 るす番運転		お部屋を留守にすると、お部屋は著しく高温／低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房／暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7 換気	管理者パスワード			
	換気機器組合せの場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転／停止ができます。	A	○

5

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
8 言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／トルコ語／ポルトガル語／ロシア語／ポーランド語／中国語 ※2	A	
9 室外静音設計	※3	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	
10 見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット－室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11 消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット－室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定				
1 切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分（10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、タイマーが作動します。	A	△
2 ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0.40 ～ 80%（20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3 設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード／冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4 人感センサー制御 人感センサー付パネル組合せの場合	※1	人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
5. お手入れ				
1 フィルタサインリセット		フィルタサインの解除 次回清掃日の設定	A A	
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の設定が必要です。	A	○
	降下長設定	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
	管理者パスワード		A	
	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3 お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効／休止を設定します。	A	
	清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
	ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
6. ユーザ設定				
1 初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定及び修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
	時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
	サマータイム補正	現在時刻に対し、＋1 時間の補正を行います。	A	
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
	バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
	運転ランプ輝度 ※1	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
	2 管理者設定			
	管理者パスワード	・操作の許可／禁止を設定します。 [運転／停止] [設定温度切換] [運転モード切換] [風向切換] [風量切換] [ハイパワー運転] [省エネ運転] [見てみて] [タイマー設定] [消費電力量表示] ※1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定] [グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定] [言語切換設定] [ドラフト防止設定] ※1	A	△

6

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
2 管理者設定	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
管理者パスワード	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み（0.5℃ / 1.0℃）を設定します。	A	
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり／なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり／なしを設定します。	A	△
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
	スイッチ機能変更 ※1	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※3 [ハイパワー運転] [省エネ運転] [室外静音制御] [るす番運転] [おこのみ設定運転 1] [おこのみ設定運転 2] [フィルタサインリセット] [グリル昇降] [消費電力量表示]	A	
7. サービス設定				
1 据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
サービスパスワード	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
	試運転	試運転の開始／停止を制御できます。		
	冷房試	設定 5℃ 30 分間運転します。	B	△
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
	お掃除試運転	フィルタ清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	B	
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
	バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
	人感センサー設定 ※1	リモコンに接続された室内機の人感センサー検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	B	
	人感センサー付パネルの組合せの場合			
	グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2 リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
	吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
	リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房 別々に補正可能です。	B	△
	運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
	設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／°F の選択が可能です。	B	
	ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
	外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
	上下ルーパー制御	上下ルーパーの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	○

7

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン				
2	リモコン設定	左右ルーバの [ 固定位置停止 ] ／ [ フリー停止 ] の切換ができます。	B					
	サービスパスワード	換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○			
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○			
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B				
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B				
3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○			
	サービスパスワード	フィルタサイン	フィルタサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○			
		外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B	○			
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B	○			
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B				
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B				
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	△			
		吸込温度補正	吸込センサー検知温度を ±2℃の範囲で補正できます。	B	△			
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○			
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○			
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○			
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○			
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○			
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○			
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○			
		暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○			
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B				
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B				
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B				
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B				
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B				
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。	B				
		4	サービス・メンテナンス	外部出力設定 ※1	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B		
				エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○	
				次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	○	
				サービスパスワード	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
				点検表示				
				異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。			
				異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。	B	△	
異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。							
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。							
室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。			B				
	特殊操作	[ 室内アドレス消去 ] [ CPU リセット ] [ 初期化設定 ] [ タッチパネル調整 ] の操作ができます。	B	△				
		室内機容量表示 ※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B				
	お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○				
8. 困ったときは・・・								
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL 番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A					
2	サービスを依頼される前に Q & A	Q & Aが表示されます。	A					
9. 点検表示								
	点検表示確認	異常発生時の表示	A	△				
10. パソコン接続								
	USB 接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C					
◆ 組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。								

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。